

日本地球電気磁気学会会報（第90号）

1981年5月31日

日本地球電気磁気学会

東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

(財)日本学会事務センター内

電話 03-815-1903

I 第69回総会ならびに講演会

第69回総会ならびに講演会は、5月13日～15日の3日間、郵政省電波研究所のお世話により、武蔵野市立武蔵野公会堂及び電波研究所講堂で開かれた。14日午後には、福島園会員による「電波音波による晴天大気のリモートセンシング」及び行武毅会員による「海洋リソスフェアの電磁氣的構造」についての特別講演の後、新妻会員を議長として、下記のような次第で総会が開かれた。

- (1) 開会の辞
- (2) 議長選出（新妻会員）
- (3) 大会委員長あいさつ（若井大会委員長）
- (4) 運営委員会報告（河島運営委員 2頁II参照）
- (5) 田中館賞授与

第85号 小川 忠彦 会員

極域電離層の電子密度不規則構造に関する研究

第86号 麻生 武彦 会員

流星レーダーによる超高層大気力学の研究

- (6) 田中館賞審査報告
- (7) 長谷川記念杯贈呈

前田 担 会員

- (8) 委員長あいさつ
- (9) 議事

(イ)昭和55年度決算（3頁III参照）

(ロ)昭和56年度予算（〃 〃）

(イ) (ロ)について、小川運営委員より説明があり、原案通り承認された。

(イ)次期開催地の確認

前学会で提案されたとおり、第70回総会・講演会開催地は神戸大学とし、期日は10月13日～15日の3日間とすることが確認された。

(ロ)次々期開催地の提案

恩藤会員より、第71回総会・講演会開催地を国立極地研究所にお願いしたい旨提案があり、国立極地研究所を代表して平沢会員から了承したとの発言があった。

(ハ)WDC-Aの状況報告

前田会員よりNOAAのWDC-Aの人員削減計画の状況が報告され、STP関連部門が廃止になるおそれがあるので、関係の深い当学会々員諸兄から個人的に存続を希望する旨の嘆願書を出してはどうかという要請がなされた。

あて先

Mr. James P. Walsh
Acting Administrator
NOAA, Dept of Commerce
Washington, D.C., 20230, U.S.A.

(10) 謝辞

小嶋会員より参加者を代表して、今回の総会と講演会をお世話下さった電波研究所の方々に謝辞が述べられた。

(11) 閉会の辞(議長)

II 運営委員会報告

(イ) 入退会手続 新入会員の承認は運営委員会が行うことになっているが、学会事務センターと運営委員会の連絡不良により、運営委員会の承認を経ないで会員番号が発行された事例が数件あった。この件に関しては、正規の用紙による入会手続を再度行っていただき、早急に運営委員会で審議を行い、新入会員にとって大きな不利益を生じないよう対処することにした。

(ロ) 高圧送電直流化問題 高圧送電直流化は本学会々員の研究に直接大きな影響を持っているので、検討委員会を設置して対策を検討すべきであるが、問題が政治的な一面を含んでいるので、まず福島直会員に世話人となっていただきその準備会を発足させることにした。

(ハ) 講演会々場での関連メーカーによる展示の取扱いについて 講演会々場等に、当学会と関係の深いメーカー等よりデモンストレーションのための展示を行いたい旨の申し込みがあ

った場合には、最低一年間の賛助会員となっていただくことにすることにした。

(二) 宇宙科学技術連合講演会

日本航空宇宙学会より上記講演会に共催の申し込みがあったので同意することにした。

開催日時 昭和56年10月22日(木)及び23日(金)

場 所 京大会館

講演時間 20分

申込宛先 日本航空宇宙学会「第25回宇宙科学技術連合講演会」係

〒105 東京都港区新橋1-18-2 航空会館分館 (Tel 03-501-0463)

申し込締切 56年7月10日(金)

詳細は直接上記宛先または総務にお問い合わせ下さい。

III 昭和55年度決算及び昭和56年度予算

総会で承認された決算及び予算は下表の通り。

昭和55年度決算

収入の部			支出の部		
科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
正会員会費	2,586,000	2,746,709	業務委託費	1,215,000	1,449,780
学生会員会費	224,000	269,000	会誌分担金	6,610,000	6,610,000
出版助成金	6,210,000	6,210,000	会誌発送費	400,000	247,180
予稿集売上代	750,000	885,000	印刷費	90,000	102,530
雑収入	170,000	234,932	通信費	250,000	257,900
			大会費	500,000	509,725
			予稿集印刷費	750,000	860,220
			会合費	50,000	41,600
			運営委員旅費	110,000	112,000
			雑費	20,000	2,060
			基金	3,400,000	3,400,000
小計	9,940,000	10,345,641	予備費	212,974	29,700
繰越金	3,667,974	3,667,974	次期繰越金		390,920
合計	13,607,974	14,013,615	合計	13,607,974	14,013,615

〔特別会計〕

田中館賞

前年度繰越	556,177
利子収入	19,766
残高	575,943

長谷川基金

前年度繰越	635,797
利子収入	36,799
残高	672,596

〔基金〕

一般会計より移算 3,400,000

昭和56年度予算

収入の部			支出の部		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
会費	3,030,000		管理費	1,850,000	
正会員	2,565,000		業務委託費	1,500,000	
学生会員	285,000		通信費	120,000	
海外会員	180,000		印刷費	10,000	
出版助成金	7,663,000		会合費	50,000	
予稿集売上代	900,000		旅費	160,000	
利子収入	220,000		雑費	10,000	
雑収入	10,000		事業費	9,853,000	
			会誌 { 分担費	8,063,000	
			{ 発送費	250,000	
			会報 { 印刷費	120,000	
			{ 発送費	120,000	
			大会 { 開催費	700,000	
			{ 予稿集	600,000	
			{ 印刷費	600,000	
			予備費	100,000	
前期繰越金	390,920		次期繰越金	410,920	
合計	12,213,920		合計	12,213,920	

IV 新入会員

第116回運営委員会で承認された新入会員は以下の9名である。(*印は学生会員)

- 野崎 高司^{*} (東海大工)
- 利根川 豊^{*} (東海大工)
- 友村 清^{*} (東海大工)
- 吉門 信 (電波研)
- 日置 幸介^{*} (東大理)
- 比屋根 肇^{*} (東大理)
- 門倉 真二^{*} (東大理)
- 金 光浩 (ソウル大)
- 糸長 雅弘^{*} (九大理)

V 第70回総会ならびに講演会の開催について

秋の学会は神戸大学のお世話により下記により開催される予定である。(詳細は次回会報参照)

1. 期間 昭和56年10月13日(火)～15日(木)
2. 会場 神戸大学

VI 各種研究助成金・奨励金について

(1) 山田科学振興財団

上記財団より当学会あてに研究援助候補者推薦の依頼があったので概略をここに転載する。

詳細は当学会総務（宇宙科学研究所内 平尾・河島・鶴田）まで御連絡下さい。

趣旨：自然科学の基礎的分野における重要かつ独創的な研究に従事する個人又はグループに対し援助する。

金額・期間：(A) 1千万円前後2千万円以内の援助 (B) 3百万円前後5百万円以内の援助
併せて10数件。1年を原則とする。

推薦締切日：昭和56年10月27日(火)

山田財団の研究援助活動には他に以下のものがある。

長期招へい	締切日	11月30日
短期招へい	〃	11月30日
長期派遣	〃	11月30日
短期派遣	〃	出発月の4ヶ月前の15日
学術交流集会	〃	9月30日

(2) 国際通信研究奨励金

財団法人KDDエンジニアリング・アンド・コンサルティングより上記奨励金に対する推薦依頼がきている。

国際電気通信に関する基礎的または応用的調査、研究を行う個人または団体を対象とする。

総額2,500万円程度、5～7件。

申し込みメ切 56年6月20日

申し込み希望者は当学会総務迄必要書類につきお問い合わせ下さい。

VII 人事公募のお知らせ

宇宙科学研究所より以下の公募要領が発表されたので転載する。

此度、下記の要領により、教官公募を行いますので、広く適任者の推薦応募を求めます。

1. 公募人員 教授3名

2.3. 所属部門及び内容

(1) 宇宙圏研究系：赤外線天体物理学部門教授、

主に飛翔体からの赤外線観測による天体物理学の研究、同研究系には、現在高エネルギー天体物理学第1、第2部門があります。

(2) 太陽系プラズマ物理研究系：磁気圏プラズマ物理学部門教授

惑星磁気圏の構造、ダイナミクス及び惑星間空間に於ける粒子加速現象の研究、同研究系には現在磁気圏電波科学部門があります。

(3) 惑星研究系：惑星大気物理学部門教授

地球を含む、惑星系の飛翔体による観測研究及び理論的研究。同研究系には、現在、超高層大気物理学部門、惑星大気計測学部門があります。

4. 着任時期 昭和56年度内の成る可く早い着任を希望。

5. 必要書類 (1) 略歴, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文別刷各1部

(4) 他薦の場合、推薦書、自薦の場合、本人について意見を述べられる人
2名(氏名、連絡先)

6. 締 切 昭和56年8月31日

7. 或 先 宇宙科学研究所 所長 森 大吉郎

(代表)

〒153 東京都目黒区駒場4-6-1 電話 03-467-1111

8. 問 合 せ 不明点及び資料の請求は下記に願います。

(1) 宇宙圏研究系 田中 靖郎 内線308

(2) 太陽系プラズマ物理研究系 大林 辰蔵 内線320

(3) 惑星研究系 平尾 邦雄 内線334

9. 選 考 選考は宇宙科学研究所運営協議員会議に於て行います。応募者中に適任者が
ない場合、決定を保留することがあります。

10. そ の 他

- 宇宙科学研究所は、東京大学宇宙航空研究所が発展的に改組し、昭和56年4月14日付を以て、新たに発足した、国立大学共同利用機関です。
- 当該部門の責任者として、且つ、国内に於ける共同研究、並びに国際協力研究に主導的役割を果たす方を希望します。
- 封筒の表に「教授応募(推薦)書類在中」と明記下さい。

Ⅷ. 学生会員継続届

現在学生会員であって、昭和56年度も学生会員の継続を望まれる方は6月末日までに学会事務センターあてに下の継続届を提出して下さい。提出されない場合は自動的に正会員費が請求されることとなります。

----- キ リ ト リ 線 -----

学 生 会 員 継 続 届

氏名 _____ 同ローマ字 _____

所属大学・学部・学科 _____

学年 学部・大学院修士・大学院博士 年 _____

(昭和56年4月からの学年次)

研究テーマ _____

指導教官署名 _____

日 付 _____